

令和3年度
事業計画書・収支予算書
(案)

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して
コロナ禍を乗り越える活力づくり

令和3年度 事業計画書・収支予算書(案)

目次

■事業計画書

第1部 令和3年度事業の考え方と推進体制

- 1. 基本理念と施策目標…………… 2
- 2. 推進体制…………… 4

第2部 施策体系と事業

- 1. 事業方針…………… 6
- 2. 施策体系
 - (1) 施策Ⅰ 活力ある福島の創造 …… 8
 - (2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展 …… 10
 - (3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所 …… 14

第3部 部会・委員会事業

- 1. 部会事業…………… 16
- 2. 委員会事業…………… 22

■収支予算書…………… 29



福島商工会議所 プロフィール

設 立／大正6年7月28日
※県内で1番目、全国で66番目の商工会議所として設立
所 在 地／福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階
法的根拠／商工会議所法
※昭和28年8月1日法律第143号
会 員 数／3,810 (R3.2.28現在)
議 員 定 数／130



商工会議所マークは、商工会議所の英語名 CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRYの頭文字CCIを図案化したもので、昭和32年に日本商工会議所が全国から募集し、1等に入選した作品です。

1. 基本理念と施策目標



足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

～コロナ禍を乗り越える活力づくり～

会頭 渡 邊 博 美

新型コロナウイルスが国内で最初に感染が確認されてから一年余りが経ちますが、収束はなお見えません。

コロナ禍は人々の行動パターンや価値観を大きく変えてしまいました。企業は感染症の感染拡大防止を徹底するために「新しい生活様式」の実践が求められるとともに、長期化するコロナ禍の影響はすべての業種に及び、とりわけ観光・飲食業を中心に深刻な影響が出ています。

福島商工会議所では令和2年3月25日に「新型コロナウイルスに伴う経営支援対策本部」を設置し緊急事態に対応するため、各種取組みを推進してまいりました。今後も引き続き情報収集に努めながら支援内容等の迅速な周知を図るため、積極的な情報発信を実施し、会員の皆様に寄り添った伴走型の経営支援の充実を通じて会員事業所の体質強化を図ってまいります。

中心市街地に目を転じますと、4月に福島県立医科大学保健科学部が駅前通りに開設されます。当所としても、若者をはじめ幅広い世代の賑わいと交流が生まれるまちづくりの推進に取り組むとともに、福島駅東口地区再開発事業への積極的な支援・協力、福島駅エリアの東西一体化に向けた推進体制を整備してまいります。

また、4月から「東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）」が始まります。当所においても福島市の観光資源を積極的にPRするとともに、今春に全線開通予定の東北中央自動車道相馬福島道路を活用した広域連携による誘客事業を推進し、交流人口の拡大を図ってまいります。

東日本大震災から10年を迎え、令和3年度から「第2期復興・創生期間」が始まりますが、復興はまだ道半ばです。加えて2月には福島県沖地震が発生するなど自然災害や感染症へのリスクはますます高まっています。こうしたリスクに対応できる足腰の強い会員事業所への支援を推進してまいります。併せて商工会議所自らの組織・財政基盤の強化とともにSNS等を活用して情報発信力の強化にも取り組んでまいります。

当所は会員事業所の発展と地域の活性化のため、「足腰の強い『健都ふくしま』を目指して」を基本理念に掲げ、令和3年度は「コロナ禍を乗り越える活力づくり」の年間テーマの下、1) コロナ禍を乗り越える、2) 福島駅周辺を核とする賑わいをつくる、3) 広域的に誘客を進める、4) 会員の満足度を上げる を4つの柱に据えて各種事業を現場主義に基づいて着実に実行してまいります。



商
工
会
議
所
の
使
命

地域経済の 活性化

まちのにぎわいを支え、未来を創り、
福島の復興と再生を推進します。

企業の安定 ・成長

会員事業所の持続的発展に必要な
事業を推進します。

商工会議所の 活性化

会員事業所への支援強化に必要な
足腰の強い組織づくりを推進します。



I 活力ある福島の創造

- A. ふくしま将来ビジョンの推進
- B. 政策提言・要望活動の推進
- C. 中心市街地の活性化
- D. 広域連携の推進
- E. 観光振興及び交流人口拡大対策の推進
- F. 地域の祭り・伝統文化の興隆
- G. 消費拡大の推進



II 会員事業所の発展

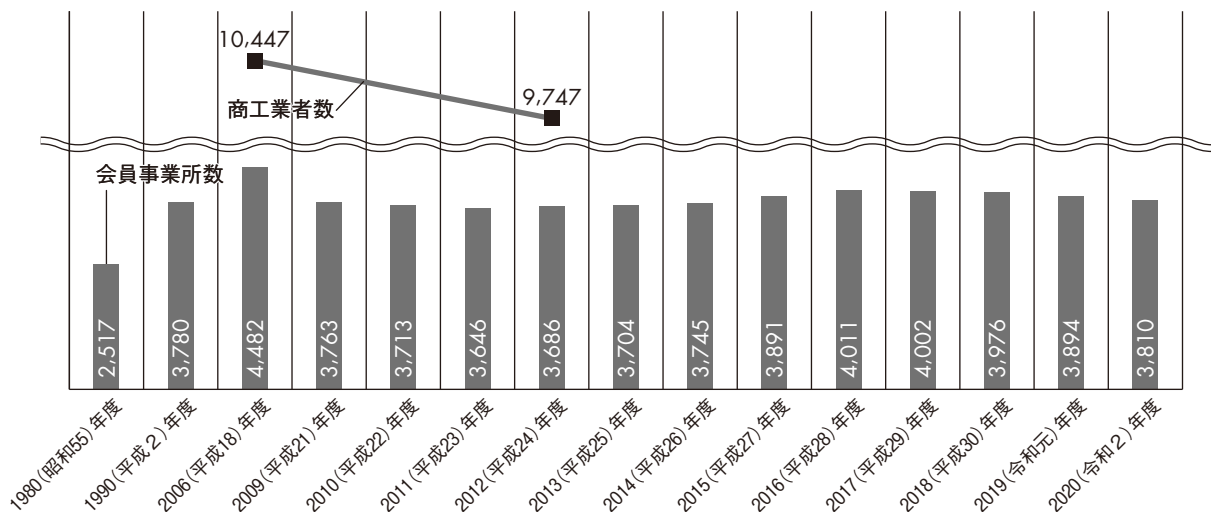
- A. 小規模事業者の伴走型支援の推進
- B. 相談支援体制の充実・強化
- C. 経営革新の推進
- D. ビジネス拡大の推進
- E. 事業承継・事業再生の支援
- F. 創業の推進
- G. 人材育成事業の推進
- H. 雇用対策事業の推進
- I. 各種調査・情報提供
- J. 業種別振興事業の推進
- K. 福利厚生 of 充実



III 魅力ある商工会議所

- A. 商工会議所の運営強化
- B. 商工会議所の情報発信力の強化
- C. 運営基盤の強化
- D. 事務局機能の強化

福島商工会議所の会員数 3,810 (R3.2.28現在)



□商工業者数：資料／経済センサス基礎調査（総務省統計局）
 ・数値は福島商工会議所管内（飯坂、松川、飯野地区を除く）の商工業者数
 ・調査は4～5年毎に実施され、直近として、2012（平成24）の数値を記載

2. 推進体制



会 頭 **渡邊 博美**
福島ヤクルト販売(株) 代表取締役会長



副会頭 **菅野日出喜**
菅野建設(株) 代表取締役

担当部会 ◆建設業部会、金融・経営支援部会

担当委員会 ◇総務委員会



副会頭 **後藤 忠久**
(株)後藤歯科商店 代表取締役

担当部会 ◆食品商業部会、生活関連商業部会、情報・通信部会

担当委員会 ◇中心市街地活性化委員会



副会頭 **坪井 大雄**
福島貸切辰巳屋自動車(株) 代表取締役社長

担当部会 ◆工業部会、観光・飲食部会

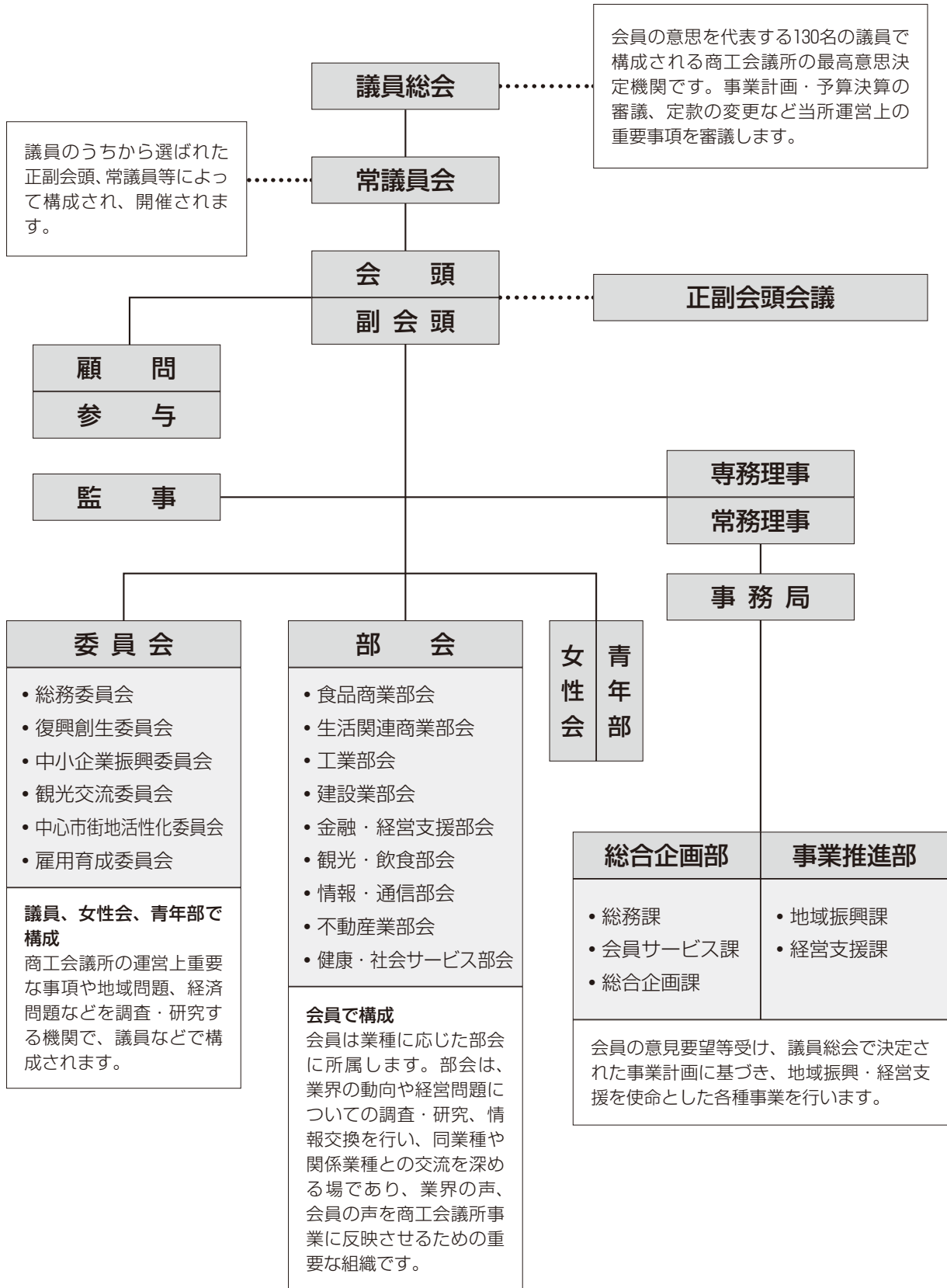
担当委員会 ◇観光交流委員会、雇用育成委員会



副会頭 **大槻 博太**
大槻電設工業(株) 代表取締役

担当部会 ◆不動産部会、健康・社会サービス部会

担当委員会 ◇復興創生委員会、中小企業振興委員会



1. 事業方針

令和3年度事業方針(案)

1. 基本理念 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

2. 年間テーマ コロナ禍を乗り越える活力づくり

3. 事業概要

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、福島市の経済環境は、経済社会活動の停滞や人口減少などの課題に直面し非常に深刻な状況にある。感染症の感染拡大防止を徹底するため「新しい生活様式」の実践が求められており、企業も地域もウイズコロナやアフターコロナを見据えて、社会の変化を捉え新たな視点で変化に対応できるようにするための取り組みを進める必要がある。

また、東日本大震災から10年を迎え、令和3年度から「第2期復興・創生期間」が始まるが、復興はまだ道半ばであり、加えて2月には福島県沖地震が発生するなど復興再生に向けて全力で取り組むとともに、自然災害や感染症のリスクに対応するための事業継続力強化計画の策定を促進する必要がある。

福島商工会議所は、会員事業所の活力と地域経済の活性化のため、現場主義に徹しながら、足腰の強い「健都ふくしま」の実現に向けて積極的に事業に取り組んでいく。

(1) コロナ禍を乗り越える

コロナ禍の長期化によりあらゆる業種、とりわけ観光・飲食業において大きな影響を受けており、会員事業者に寄り添った伴走型の経営支援をより一層充実するとともに、福島市と共同で認定を目指している「事業継続力強化支援計画」に基づいて事業継続力強化計画の策定促進に努める。

[主な重点事業]

- SNSを活用した新型コロナ対策の事業者向け支援策の迅速な情報提供
- オンラインによるセミナーや経営相談の実施
- 「新たな日常」に向けた新分野展開などの事業再構築への支援
- ICTによるデジタル技術活用による生産性向上への支援
- 感染症を含めた自然災害リスクに対応するための「事業継続力強化計画」の策定支援
- 「ランチで食うポン」の充実および参加店のレベルアップによる飲食業への支援
- 東北デスティネーションキャンペーンに連動した観光資源の積極的なPR

(2) 福島駅周辺を核とする賑わいをつくる

4月に開学する県立医科大学保健科学部の新入生を歓迎おもてなしし、さらに、市内学生をはじめとする若者のまちづくりの参画を図るとともに、駅前通りのホコ天事業への支援を行い、中心市街地のにぎわいを創出する。



また、福島駅東口地区再開発事業に積極的に支援・協力するとともに、福島駅エリアの東西一体化に向けた推進体制を整備する。

[主な重点事業]

- 福島駅東口地区市街地再開発事業への支援・協力
- 福島駅前通りホコ天事業への支援
- 福島駅エリアの東西一体化に向けた推進体制の整備
- 県立医科大学保健科学部新入生の歓迎おもてなし
- 古閑裕而を活かしたまちづくりへの支援・協力
- 市内学生など若者のまちづくりへの参画推進

(3) 広域的に誘客を進める

4月から6か月間展開する「東北デスティネーションキャンペーン（DC）」に連動して、福島市の観光資源を積極的にPRするとともに、今春に全線開通予定の東北中央自動車道相馬福島道路を活用した広域連携による誘客事業を推進し、交流人口の拡大を図る。

連続テレビ小説「エール」のロケ地や福島わらじまつりなど古閑裕而氏を活用した誘客事業を推進するとともに、被災3県を舞台とした連続テレビ小説（「エール」、「あまちゃん」、「おかえりモネ」）を活用した情報発信に努める。

東京オリンピック・パラリンピック、創立10年目の福島ユナイテッドFCそして大相撲大波三兄弟への支援を通じて福島の元気を積極的に発信する。

[主な重点事業]

- 東北DCと連動した観光資源の積極的なPR
- 被災3県朝ドラ連携プロジェクトの支援・協力
- 福島わらじまつりを活用した地域活性化の推進
- 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進
- 東京五輪などスポーツをキーワードとした福島市の情報発信の充実

(4) 会員の満足度を上げる

新しい生活様式に対応した会員サービスの向上を検討するとともに、SNSを活用しセミナーやイベントなどの開催情報や事業者向けの支援策などを積極的に発信して、会員サービス事業の利活用を促し会員の満足度の向上を図る。

従業員の福利向上につながる生命共済制度を推進するとともに、会員限定の保険料が割安な損害保険制度の加入促進を図る。

[主な重点事業]

- 新しい生活様式に対応した会員サービスの向上
- SNSを活用した情報発信力の強化
- 会員満足度の向上による会員増強運動の実施
- エール共済の維持拡大および会員限定の損害保険の加入促進

(1) 施策 I 活力ある福島の創造（地域経済の活性化）

I-A ふくしま将来ビジョンの推進

1 SDGsなど新しい視点によるアクションプランの見直しならびに進捗管理

- (1) 部会・委員会等連携による具体的事業の実施
- (2) 福島市をはじめとする関係機関への提言ならびに要望活動の実施

I-B 政策提言・要望活動の推進

1 商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上

- (1) 部会・委員会による地域課題の調査・研究
- (2) 日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携
- (3) 各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究

2 政策提言・要望活動の実施

- (1) コロナ禍等に対応した中小企業支援対策等に関する要望
- (2) 福島駅周辺を核とする中心市街地活性化に関する要望
- (3) 福島市の都市形成およびまちづくりの推進に関する要望
- (4) 中核市としての独自の施策の実施および連携中枢都市圏構想の推進に関する要望
- (5) 復興のための幹線道路の整備促進および建設促進に関する要望
- (6) 観光振興および交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
- (7) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組みの強化に関する要望
- (8) 原子力災害に関する要望

I-C 中心市街地の活性化

1 中心市街地活性化の推進

- (1) 福島市中心市街活性化協議会の運営と第3期基本計画の推進

- (2) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化 **重点**

- ① 福島駅東口地区再開発事業への支援・協力

- ★ ② 福島駅前通りホコ天事業への支援・協力 **重点**

- ★ ③ 福島駅エリアの東西一体化に向けた推進体制の整備 **重点**

- ④ 福島駅周辺（駅前通り等）における賑わい創出イベント等の実施

- ⑤ まちづくり推進基金を活用した中心市街地活性化のための調査・研究およびイベント推進

- ⑥ 街なか広場の利活用の推進

- (3) 県立医大保健科学部のまちなか受入れ事業の実施 **重点**

- ① 新入生歓迎おもてなし事業の実施

- ② 県立医大保健科学部開設に伴う住居ニーズへの対応

- (4) 若者のまちづくりへの参画の推進 **重点**

- ① 若い世代に魅力のあるまちの創造と学生が滞留するための施策の検討

- ② 市内の学生および若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくりの検討

- (5) (株)福島まちづくりセンターとの連携

2 世代を超えて集える賑わい創出の推進

- (1) 福島駅前元気プロジェクト（春・夏・秋・冬）等のにぎわい創出イベントの展開 **重点**

- (2) 商店街等の各種行事・イベントへの支援・協力

- (3) 関係団体との情報・意見交換

3 都心居住の推進

- (1) 県立医大保健科学部開設に伴う住居ニーズへの対応（再掲）

- (2) 集合住宅、ニーズに対応した居住サービスの提供に関する検討

- (3) 空家対策の推進

4 情報の発信

- (1) ホームページ「まちなかイベントカレンダー」等情報発信の強化

- (2) まちなかイベントの相互のPRの推進

I-D 広域連携の推進

1 県境を越えた広域連携の推進

- (1) 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（福島・相馬・米沢・山形） **重点**

- ① 相馬・米沢方面からの誘致策の検討

- ② 東北中央自動車道沿線道の駅等を活用した本市観光PR事業の実施

- ③ 仙台国際空港を活用した広域観光周遊ルートの検討

- ★ ④ 福島大笹生IC周辺に整備される「(仮称)道の駅ふくしま」を活用した広域観光の推進

- ⑤ 相馬・米沢の企業・山形大学工学部および商工会議所等との交流推進

- ⑥ 連携中枢都市圏構想を見据えた福島市周辺の経済団体による連携事業の推進

- ⑦ 福・相・米「観光ドライブMAP」改正版の発行

- (2) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究



★：新規事業

- (3) 連携中枢都市圏構想による中小企業振興の推進
 - (4) 東北中央自動車道大笹生IC周辺整備（（仮称）道の駅ふくしま、工業団地等）の促進
 - ★ (5) 被災三県朝ドラ連携プロジェクトの支援・協力 **重点**
- 2 福島西道路の南進・東北中央道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進**

I-E 観光振興および交流人口拡大対策の推進

- 1 東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）に連動した誘客事業の実施および支援** **重点**
- (1) 東北DCに連動した観光資源（「エール」ロケ地（水林自然林・民家園等）・花見山・花ももの里等）PR事業の実施
 - (2) 東北DC成功へ向けた市内企業・商店街・市民等へのおもてなし啓発活動の実施
 - (3) 東北DC応援企画「TOHOKUサポーター」登録募集活動への協力
 - (4) 優待お食事券事業によるJRとの連携事業の実施
 - (5) 福島駅周辺での観光誘客イベント（ハル・ナツ・アキフェス）の開催
 - (6) 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

① 「ふくしま花のまちフェスティバル2021」の実施

(7) 東北の情報発信拠点事業「東北ハウス」による連携事業の推進

2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

- (1) 古閑裕而氏を活かしたまちづくりの推進 **重点**
 - ① 福島市が行う「古閑裕而のまち・ふくしま」シンフォニーへの支援・協力
 - ② 「古閑裕而氏の野球殿堂入りを実現する会」への支援・協力
 - ③ 青年部「古閑裕而関連事業」への支援・協力
- (2) まつり（東北絆まつり2021山形・第52回福島わらじまつり）を活用した地域活性化の推進 **重点**

- ★ (3) 第52回福島わらじまつりへの「エール」出演者の誘致活動の実施
- (4) ふくしま地域ポータルサイト「もりんく」の運営支援

3 観光振興のための連携の推進

- (1) 仙台国際空港を活用した南東北3県にまたがる広域的な観光商品の検討
- (2) 周辺市町村と連携した広域観光の推進
 - ① 「相馬野馬追」「米沢上杉まつり」などを活用した相馬・米沢との連携による広域観光の推進
 - ② 「福島ロボットテストフィールド」等を活用した観光振興
- (3) 福島市観光コンベンション協会との連携強化

4 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力 **重点**

- (1) 東京2020オリンピック（福島市開催）への支援
 - ① 福島わらじまつりによるオリンピック歓迎事業の推進
 - ② 東京オリンピック（福島市開催）に向けた各種歓迎イベントとの連携強化
- (2) スイス連邦、ベトナムのホストタウンとしての交流への支援
- (3) 福島ユナイテッドFCへの支援（サポーターズクラブ加入促進等）
- ★ (4) 「大相撲大波三兄弟福島後援会」への支援

5 国際交流およびインバウンド推進

- (1) アフターコロナに向けたインバウンド対応の推進
 - ① 外国人との接客に関するおもてなしセミナーの実施
 - ② インバウンド受入れ態勢の充実
 - ③ インバウンド受入れ拡大に向けた情報発信の強化
- (2) ふくしま台湾友好協会の交流の促進

I-F 地域のまつり・伝統文化の興隆

- 1 第52回福島わらじまつりの開催
[8月6日(金)・7日(土)]
- 2 東北絆まつり2021山形への福島わらじまつりの参加
[5月22日(土)・23日(日)]
- 3 第43回ふくしま花火大会への協力
- 4 ふくしま山車祭りへの協力
- 5 信夫三山暁まいりに対する協力

I-G 消費拡大の推進

- 1 飲食店の消費拡大の推進 **重点**
 - (1) 優待お食事券事業「2021ランチで食うボン（春・秋）」の実施

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長）①

Ⅱ-A コロナ禍および地震対策に対応した会員事業所の再生支援

1 新型コロナウイルス対策支援事業への迅速な対応 **重点**

★ 2 中小企業の事業再構築（新分野展開、業種展開、事業・業種転換）への支援 **重点**

★ 3 令和3年福島県沖地震災害への支援・協力 **重点**

4 福島県小規模いきいき支援事業に対する支援・協力

5 連携による中小企業振興の推進

(1) 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力

(2) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力

Ⅱ-B 相談支援体制の充実・強化

1 さまざまな経済環境に対応した経営相談の充実

2 金融に関すること

(1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マルケイ融資）の利用促進

(2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進

(3) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進

(4) 金融相談会の開催

3 税務申告業務の充実

★ (1) 税務事務自立化への支援強化（セミナー、個別相談会の開催）

(2) 記帳の電子化・クラウド化に関する支援（ブルーリターンA等）

(3) 消費税申告に関する支援

4 消費税に関すること

(1) 消費税対策窓口相談事業の実施

① 個別経営なんでも相談会の開催

② 消費税に関するセミナーの開催

5 労務に関すること

6 原子力損害賠償に関すること

7 専門家による指導体制の充実

(1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業

(2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用

(3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導

(4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施

(5) 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施

8 事業継続計画（BCP）に関する支援 **重点**

(1) 自然災害や新たな感染症などの緊急事態に備えたBCPの策定支援

(2) 事業継続力強化支援計画の策定・認定（福島市との共同作成）

(3) 経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）の普及促進

(4) BCPと連動した提携損害保険の推進 **重点**

Ⅱ-C 経営革新の推進

1 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化

(1) 経営革新計画策定および認定に関する支援

(2) 経営革新に関する個別相談会の開催

Ⅱ-D ビジネス拡大の推進

1 小規模事業者の販路拡大支援（補助金活用による経営安定化の推進） **重点**

(1) 「ランチで食うボン」の充実および参加店のレベルアップによる飲食業の支援

(2) 福島のフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業の実施

2 医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援

3 医療連携推進事業の充実

(1) ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進

(2) 福島県立医科大学と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援



4 産学官連携の推進

- (1) 東北中央自動車道を活かした米沢市・相馬市の事業所や山形大学工学部等との連携の推進
- (2) 福島大学食農学類をはじめとした市内大学と連携した6次化の検討
- (3) 研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化
- (4) 福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター」と地元企業との連携に関する研究
- (5) 福島イノベーション・コースト構想に関する地域企業との連携

5 ビジネスチャンスの提供

- (1) 会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催
- (2) ICTの利活用の推進（ザ・ビジネスモールの登録推進等）
- (3) 所報のチラシ折込サービス・広告掲載による取引拡大支援
- (4) 商取引の照会・斡旋

6 優良会員事業所表彰制度の充実

II-E 事業承継・事業再生・事業再構築の支援 **重点**

1 後継者対策、事業承継に関する支援の充実

- (1) 事業承継のマッチングに関する支援
- (2) 事業承継に関する個別相談の実施
- (3) 福島県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した無料相談会の開催

2 事業再生に関すること

- (1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
- (2) 事業転換に関する支援

★ 3 事業再構築に関すること（再掲）

- (1) 中小企業等事業再構築補助金の採択支援

III-F 創業の推進

1 創業スクールの実施

2 創業に関する個別相談の充実

- (1) ビジネスプラン作成の支援
- (2) 開業資金の調達に関する支援

II-G 人材育成事業の推進

1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

- (1) インターネットを活用したWEBセミナーの配信
- (2) 経営課題別セミナーの開催
- (3) 組織階層別セミナーの開催（新入社員、中堅社員、営業社員等）
- (4) 製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催（県北技塾）
- (5) 生産性向上支援訓練の開催

- ① パソコン教室の運営

2 各種検定試験による商工技能の向上

- (1) 各種検定の実施
 - ① 日商簿記検定試験
 - ② リテールマーケティング検定試験
 - ③ 日商珠算検定試験
 - ④ PC検定試験
 - ⑤ 福祉住環境コーディネーター検定試験
 - ⑥ ビジネス実務法務検定試験
 - ⑦ 環境社会検定試験
 - ⑧ ビジネスマネージャー検定試験
 - ⑨ カラーコーディネーター検定試験
- (2) 検定試験受験に関する企業・大学等へのPR強化

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長）②

Ⅱ－H 雇用対策事業の推進

1 雇用対策に関すること

- (1) 高等学校との連携による取組み（意見交換会・企業見学会等の開催）
- (2) 市内の大学との連携
- (3) 福島市雇用促進サポート事業の実施
- (4) インターンシップの推進
- (5) 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携および普及・啓発

2 働き方改革・若者・女性活躍に関すること

- (1) 働き方改革に関する国の各種施策についての情報提供
- ★ (2) ICTによるデジタル技術活用による生産性向上への支援 **重点**
- (3) ワーク・ライフ・バランスの普及啓発および推進
- (4) 若者・女性の人材育成についての先進的な取組み事例の研究
- (5) 福島市人材確保支援事業の実施
- (6) 福島市若者自立支援仕事体験事業の実施
- (7) 女性就業促進に関する行政への要望

3 健康経営・職場環境に関すること

- (1) 健康経営に関する研究および情報提供
- (2) 健康経営セミナーの開催
- (3) 健康寿命延伸に関する調査・研究および推進

Ⅱ－I 各種調査・情報提供

1 登録・申請・検査業務の実施

- (1) 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
- (2) 容器包装リサイクル業務の実施
- (3) 原産地証明書の発行

2 地域経済に関する各種調査の実施

- (1) LOBO（早期景況調査）調査
- (2) 中小企業景況調査

Ⅱ－J 業種別振興事業の推進 ◎：部会重点事業

1 食品商業に関すること

- (1) 経営力強化に関すること ◎
- (2) 新型コロナウイルス感染症に関する各種支援情報の提供 ◎
- (3) 商環境の変化への対応に関すること

2 生活関連商業に関すること

- (1) 新しい生活様式へ対応した個店の魅力向上支援 ◎
- (2) おもてなしサービスの向上支援
- (3) 販売物流の情報提供と調査研究

3 工業に関すること

- (1) SDGsの理念に基づく活動の推進 ◎
- (2) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化 ◎
- (3) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進 ◎
- (4) コロナ禍における人材育成事業および新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 ◎
- (5) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進

4 建設業に関すること

- (1) 建設業の基盤強化に向けた取組み ◎
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策への支援 ◎
- (3) 福島市の都市形成に関する検討 ◎
- (4) 建設業界に関する情報提供

5 金融・経営支援に関すること

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策への支援 ◎
- (2) 中小企業支援のための各関係機関との連携強化
- (3) 新たな産業創出に資する研究開発拠点・産業集積拠点等の調査・研究
- (4) 経済・金融・経営および地域動向に関連する講演会の開催



6 観光・飲食業に関すること

- (1) 東北デスティネーションキャンペーン（DC）に連動した誘客事業への協力 ◎
- (2) 地域飲食店の繁盛支援 ◎
- (3) 新型コロナウイルス感染症等に関する各種支援情報の提供
- (4) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた各種イベントとの連携強化
- (5) 関係機関等との連携の強化

7 情報・通信業に関すること

- (1) テレワークなど新型コロナウイルス感染症対策でデジタル化に取り組む会員事業所への支援 ◎
- (2) ICTの利活用、情報提供に関する支援
- (3) 部会員スピーチの開催
- (4) 福島市のブランド力向上につながる情報発信への支援・協力

8 不動産業に関すること

- (1) 快適で魅力あるまちづくりと都心居住の推進 ◎
- (2) 今後の住宅ニーズの動向に関する調査および対策 ◎
- (3) コロナ禍の業界への影響に関する調査および対策 ◎
- (4) 会員事業所への情報の提供

9 健康・社会サービス業に関すること

- (1) 部会員のおもてなし向上に向けた事業の推進 ◎
- (2) 部会員の健康経営の推進 ◎
- (3) ICTを活用した生産性向上の支援 ◎
- (4) 部会員間の親睦事業等の実施
- (5) 会員事業所への情報提供

II-K 福利厚生の実践

1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

- (1) 生命共済制度 [エール共済]・個人保険の普及・拡大 **重点**
- (2) 特定退職金共済制度の普及・拡大
- (3) 小規模企業共済制度の普及・拡大
- (4) 共済加入者還元事業の充実

2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

- (1) 生活習慣病健診の実施
- (2) 人間ドック健診の実施

3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）

Ⅲ－A 商工会議所の運営強化

1 運営強化のための会議等の充実

- (1) 常議員会・議員懇話会の充実
- (2) 正副会頭と部会長・委員長会議の開催
- (3) 女性会・青年部と正副会頭との意見交換会の開催
- (4) 福島市・福島市議会との意見交換会の開催
- (5) 他地区商工会議所の視察および懇談会の開催
- (6) 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催
- (7) 福島市新年市民交歓会の開催

2 商工会議所組織の活性化に関すること

- (1) 部会・委員会の活性化

3 会員サービスの充実

- ★ (1) 会員ニーズ把握のための調査の実施
- (2) 会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催（再掲）
- (3) オリジナルカレンダーの作成・配布

4 女性会・青年部の運営支援と連携強化

- (1) 福島商工会議所女性会の運営
- (2) 福島県商工会議所女性会連合会の運営
 - ① 全国商工会議所女性会連合会2021福島全国大会の受入れ
- (3) 福島商工会議所青年部の運営
- (4) 各種事業への支援と連携強化

5 福島県商工会議所連合会の運営

- (1) 各種会議の開催（会頭会議、総会、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等）
- (2) 福島県等への要望の実施
- (3) 風評被害・風化対策事業の実施
- (4) 県内商工会議所職員研修の実施

6 外郭団体との連携

- (1) 福島市商店街連合会
- (2) 福島市商店街連合会青年部
- (3) 福島青色申告会連合会
- (4) 福島市青色申告会
- (5) 福島県珠算連盟
- (6) 福島珠算連盟
- (7) 福島わらじまつり実行委員会
福島夏まつり委員会
- (8) 福島エネルギー懇談会
- (9) 東北経済連合会福島地域懇談会
- (10) 福島県警察官友の会連合会
- (11) 福島地区警察官友の会
- (12) 福島県自衛隊協力会連合会
- (13) 福島市自衛隊協力会
- (14) 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会
- (15) 福島リサイクル推進協議会
- (16) ふくしま台湾友好協会
- (17) 福島県商工3団体暴力団等排除対策協議会
- (18) 福島市にサッカースタジアムを作る会
- (19) 大相撲大波三兄弟福島後援会
- ★ (20) (仮称)福島駅エリア東西一体化推進協議会



Ⅲ－B 商工会議所の情報発信力（見える化）の強化 **重点**

1 情報戦略の構築

(1) 会員事業所への情報発信の強化

★ ① SNSを活用したセミナー、イベント等の開催案内など情報発信力の強化 **重点**

(2) 未加入事業所と市民への情報発信の研究・強化

① ももりんビジョンによる情報発信

(3) メディアへの情報発信の強化

① マスコミとの意見交換会の開催

② 各種メディアによる情報発信

2 所報ふくしまの発行と内容のさらなる充実

3 ホームページおよびICT環境の整備促進

4 資料提供の拡充・強化

Ⅲ－C 運営基盤の強化

1 組織基盤の強化

(1) 組織率40%達成に向けた会員増強運動の実施 **重点**

(2) エール共済の維持拡大および会員限定の損害保険の加入促進 **重点**

2 会員事業所の巡回訪問

3 未加入事業所に対する会員加入勧奨

Ⅲ－D 事務局機能の強化

1 所内の新型コロナウイルス感染症対策の徹底

2 職場におけるメンタルヘルス・ハラスメント対策の徹底

3 環境変化に対応した支援組織としての組織のあり方の検討

4 職員の経営支援能力等の向上

(1) 経営指導員、経営指導補助員研修会など職層に応じた各種研修への参加

5 働き方改革の推進

6 各種業務の見直しおよび改善の徹底

7 法令順守体制の強化

第3部 部会・委員会事業

1. 部会事業 (正副部会長は令和3年3月1日現在)

部会とは

- 「部会」は業種ごとの会員で構成される商工会議所の基盤組織です。
- 部会ごとに会員およびその業種・業界の発展のための活動を行います。

福島商工会議所議員任期は以下のとおりとなります。

第30期 令和元年11月1日～令和4年10月31日

◎は重点事業

1. 食品商業部会

◎1. 経営力強化に関すること

- (1) 風評被害の払拭と福島産品の販売促進に関する支援
 - ・販路開拓塾、新商品開発セミナーの開催
 - ・商談会情報の提供（日商・東北六県連）
 - ・FOODEX JAPAN 2022（国際食品・飲料展）の視察
 - ・アーカイブ拠点施設「東日本大震災・原子力災害伝承館」（双葉町）の視察
- (2) 売上拡大のための補助金・各種制度の活用支援
 - ・小規模事業者持続化補助金
 - ・事業再構築補助金
 - ・専門家派遣

◎2. 新型コロナウイルス感染症に関する各種支援情報の提供

- ・各種経営課題に対応した個別相談会の開催
- ・各種給付金、助成金、補助金に関する情報提供と申請支援

3. 商環境の変化への対応に関すること

- (1) 「(仮称)道の駅 ふくしま」に関する各種情報の提供
 - ・令和4年春オープンに伴う農産物、加工食品の出品者募集情報等の提供
- (2) 「(仮称)イオンモール北福島」に関する各種情報の提供
 - ・2024年春開業予定（東北最大級の大型商業施設）
- (3) 視察研修・各種セミナーの開催
 - ・食に関する同業者店の視察
 - ・ふくしまHACCPに関すること
 - ・税制度の変更に関すること（インボイス制度：令和5年10月1日～）他
- (4) 部会員間の情報交換・交流推進

部会長	(株)川瀬酒販		
	代表取締役社長	川瀬	成人
副部会長	(株)岩見		
	代表取締役会長	岩見	政弘
副部会長	渋谷レックス(株)		
	取締役会長	渋谷	順子
副部会長	福島中央青果卸売(株)		
	代表取締役社長	池田	進二
副部会長	(有)吾妻屋		
	代表取締役社長	吾妻	イネ
副部会長	福島水産(株)		
	代表取締役社長	遠藤	淳弘



2. 生活関連商業部会

◎ 1. 新しい生活様式へ対応した個店の魅力向上支援

- (1) 新しい生活様式へ対応したセミナー開催による個店支援
- (2) キャッシュレスに関するセミナーの開催
- (3) オンラインツール活用に関する情報提供
- (4) 新型コロナウイルス感染症に関する各種支援情報の提供

2. おもてなしサービスの向上支援

- (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催時の受入れ体制への協力
- (2) 「古閑裕而のまち・ふくしま」シンフォニー（福島市事業）への協力
- (3) 地元観光資源の活用ならびに地域活性化事業への支援協力
(福島わらじまつり、賑わい創出イベント開催の協力)

3. 販売物流の情報提供と調査研究

- (1) 部会員スピーチによる業界間の情報交換
- (2) 物流に関する視察会の開催
- (3) 東北中央自動車道の整備に伴う販売拡大支援

部会長	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長 右近 八郎
副部会長	(株)いちい 代表取締役社長 伊藤 信弘
副部会長	(株)クラシマ 代表取締役社長 鈴木 廣明
副部会長	(株)ダイユーエイト 専務取締役 三瓶 善明
副部会長	ネットヨタ福島(株) 取締役会長 大沼 健次
副部会長	福島市商店街連合会 会長 小河日出男

3. 工業部会

◎SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）における実践可能な目標に取り組み、理念に基づいての活動を行う

活動目標

部会活動および各部会員の事業所における活動において、ものづくり企業として生産現場における資源の再利用や廃棄物の削減などの省資源化にも取り組む。また、マイクロプラスチックおよびカーボンニュートラルへの対策や気候変動リスクに関する啓発・資源利用効率の向上など、環境に配慮した技術の向上を図る。さらに、部会員のSDGsの取り組みに関する情報交換を行っていくとともに、SDGsに取り組む事業者の啓発と増強を引き続き図る。

当部会の諸活動においては、コロナ禍にありながらも積極的な活動ができるよう、新しい生活様式を取り入れて新型コロナウイルスの感染対策をしながら事業計画を実施する。

事業計画項目

◎1. 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化

- ・当所工業部会員の出前工場見学会（会員スピーチ、製品紹介等）を継続開催して、その現状と課題等を知り、福島市のものづくり企業間の連携の推進を図る。

◎2. 県内外商工会議所工業部会との交流の推進

- ・三都市（仙台・米沢・会津若松）工業部会交流会を活用した米沢・相馬商工会議所工業部会との交流や県内外商工会議所工業部会との交流を通して、部会員の販路拡大機会につなげていく。

◎3. コロナ禍における人材育成事業および新型コロナウイルス感染症に関する工業部会員への情報提供

- ・管内製造企業の個々の技術者等のレベルアップを図り、地域製造業者の底上げを図ることを目的として、「県北技塾」を開催する。
- ・地域の中小企業等が持続的に成長するために重要となる、労働者一人一人の生産性向上を図ることを目的として、「生産性向上支援訓練」を開催する。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、部会におけるセミナー・講演会や各種連絡等により、標記感染症対策に関する有益な情報提供を行う。

4. 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進

- ・東北中央自動車道の開通に合わせて、米沢・相馬両市の企業や福島大学を含め近隣大学の工学部等とのさらなる連携の推進を図る。
- ・福島イノベーション・コースト構想をはじめ、新産業の育成や産業集積などに関する研究機関や大学等を継続して視察することにより、研究機関等との連携の可能性を模索する。
- ・ふくしま医療関連ビジネス研究会との連携をはじめ、様々な分野への新規参入の可能性を探る。
- ・国、県、市等における産学官連携、新産業の創出、産業集積等の製造業支援施策について、福島市の産業交流プラザ等との連携を図り、各種情報の収集および提供を行う。

部会長	加藤鉄工(株)	
	代表取締役社長	加藤 利夫
副部会長	内池醸造(株)	
	代表取締役会長	内池 浩
副部会長	協三工業(株)	
	代表取締役	加藤 守
副部会長	サンヨー缶詰(株)	
	代表取締役社長	三枝 通晃
副部会長	(株)日進堂印刷所	
	代表取締役社長	佐久間信幸
副部会長	福島製鋼(株)	
	代表取締役社長	福谷 宏介
副部会長	(株)福島製作所	
	代表取締役	百田 昭洋
副部会長	(株)山川印刷所	
	専務取締役	山川 彬
副部会長	ワイザーエル(株)	
	取締役会長	山岸 則紀



4. 建設業部会

◎ 1. 建設業の基盤強化に向けた取り組み

- (1) 人手不足をはじめとする建設業界の課題解決に向けた研究
- (2) 熟練技術者の育成および確保に向けた調査・研究
- (3) 多様な人材の活躍推進に向けた調査・研究
- (4) 働き方改革に対応した取組みに関する研究
- (5) 事業承継税制および事業承継環境の改善に関する支援

◎ 2. 新型コロナウイルス感染症対策への支援

- (1) 建設業における新型コロナウイルス感染症対策に関する情報の提供
- (2) 新型コロナウイルス感染症に関する各種支援情報の提供

◎ 3. 福島市の都市形成に関する検討

- (1) 福島西道路南伸および北伸の整備促進に向けた支援
- (2) 東北中央自動車道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルート of 整備促進に向けた支援
- (3) 東北中央自動車道福島大笹生IC周辺整備に関する支援および情報の提供
- (4) 福島駅周辺連続立体交差化の実現に向けた調査・研究
- (5) 新たな都市形成を見据えた用途地域見直しに関する調査・検討

4. 建設業界に関する情報提供

- (1) 駅東口再開発事業をはじめとする福島駅周辺開発に関する情報の提供
- (2) 各種企業支援制度に関する情報の提供
- (3) その他福島の地域開発に関する情報の提供

部会長	(株)日新土建 代表取締役	桃井 三夫
副部会長	(株)大丸工務店 代表取締役	大和田知昭
副部会長	(株)杜設計 代表取締役	鈴木 宏幸
副部会長	日東物産(株) 取締役会長	大橋 廣治
副部会長	コバックス(株) 代表取締役	小林 仁一
副部会長	小林土木(株) 会長	小林 健夫
副部会長	福島ネオ工業(株) 代表取締役	吉川 昭

5. 金融・経営支援部会

◎ 1. 新型コロナウイルス感染症対策への支援

- ・金融をはじめ各種経営課題に対応した個別相談会の開催
- ・各種給付金・助成金に関する情報提供・申請支援
- ・各種補助金に関する情報提供・申請支援

2. 中小企業支援のための各関係機関との連携強化

- ・事業承継推進に向けた取り組みへの支援
- ・創業や新事業進出に関する取り組みへの支援
- ・大規模自然災害等に備えるための事業継続力強化計画策定に向けた支援

3. 新たな産業創出に資する研究開発拠点・産業集積拠点等の調査・研究

- ・コロナ禍における情報通信技術（ICT）による生産性向上の研究
- ・福島イノベーション・コースト構想など研究開発拠点・産業集積拠点の研究
- ・行政並びに関係機関等からの情報収集および提供

4. 経済・金融・経営および地域動向に関連する講演会の開催

部会長	福島信用金庫 理事長	樋口 郁雄
副部会長	(株)東邦銀行 常務執行役員	須藤 英穂
副部会長	(株)福島銀行 取締役社長	加藤 容啓
副部会長	東北税理士会福島支部 支部長	阿部 寿子

6. 観光・飲食部会

◎1. 東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）に連動した誘客事業への協力

- (1) 福島市の観光資源の利活用および観光シーズンに連動した誘客事業への協力
- (2) 市内3温泉地の各観光協会および二次交通団体等との連携強化
- (3) 東北DC成功へ向けた市内企業・商店街・市民等へのおもてなし活動への協力
- (4) 東北中央自動車道利用促進のための福島市観光PR事業への協力
- (5) 既存観光資源の見識を深めるための視察会の実施
【観光資源】「エール」ロケ地（水林自然林・民家園・信夫山）・花見山・花ももの里・フルーツライン等

◎2. 地域飲食店の繁盛支援

- (1) 当所「ランチで食うボン」事業の実施
- (2) 新たな販路開拓等のためにテイクアウトを実施している店舗への支援・協力
- (3) 福島社交飲食業組合、福島飲食業組合等との連携強化
- (4) ふくしまHACCPについての各種情報提供

◎3. 新型コロナウイルス感染症等に関する情報の提供

4. 東京オリンピック・パラリンピックに向けた各種歓迎イベントとの連携強化

- (1) 東京オリンピック（福島市開催）に向けた各種歓迎イベントへの協力
- (2) インバウンド受け入れ態勢づくりのためのおもてなしセミナーの開催

5. 関係機関等との連携の強化

- (1) 中心市街地活性化へ向けた「福島きて！みて！吞んでラリー」への協力
- (2) 県・市観光担当部局、観光コンベンション協会等との連携の強化および推進

部会長	(有)吉川屋	代表取締役会長	島 隆章
副部会長	(有)シーリン	代表取締役	日比野恒夫
副部会長	東日本旅客鉄道(株)福島駅	駅長	佐々木高敏
副部会長	福島飲食業組合	組合長	菅野 裕輔
副部会長	福島交通(株)	執行役員福島支社長	茅原 稔
副部会長	福島市観光開発(株)	代表取締役社長	渡邊 勉
副部会長	福島社交飲食業組合	組合長	高橋 光子

7. 情報・通信部会

◎1. テレワークなど新型コロナウイルス感染症対策でデジタル化に取り組む会員事業所への支援

- ・テレワーク導入に関するセミナーの開催、テレワークサポートネットワークを通じた情報提供
- ・オンライン、キャッシュレス活用などデジタル技術活用に関するセミナーの開催

2. ICTの利活用、情報提供に関する支援

- ・活用事例などを紹介するセミナーの開催
- ・最新動向や先進事例の視察会の開催
- ・生産性向上につながる事例の情報提供

3. 部会員スピーチの開催

- ・部会員相互の理解と交流の促進

4. 福島市のブランド力向上につながる情報発信への支援・協力

部会長	東日本電信電話(株)福島支店	支店長	山貴 昭子
副部会長	朝日システム(株)	代表取締役社長	博多 義雄
副部会長	(株)インフォメーション・ネットワーク福島	代表取締役社長	横澤 靖
副部会長	(株)テレビユー福島	代表取締役社長	新田 良一
副部会長	福島テレビ(株)	代表取締役社長	横山 淳
副部会長	(株)福島民報社	常務取締役	馬場 憲明
副部会長	福島民友新聞(株)	代表取締役社長	中川 俊哉
副部会長	(株)ラジオ福島	取締役会長	半野 秀一



8. 不動産業部会

◎1. 快適で魅力あるまちづくりと都心居住の推進

- (1) 県立医大「保健科学部」学生・教員への住宅情報等の提供
- (2) 福島市「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に関する情報提供
- (3) 「第3期福島市中心市街地活性化基本計画」の推進および情報提供
- (4) 空き店舗のリノベーション推進による魅力あるまちづくりへの協力

◎2. 今後の住宅ニーズの動向に関する調査および対策

- ・福島市空家等対策事業等への協力
- ・民間所有の空き物件等の有効活用に関する調査

◎3. コロナ禍の業界への影響に関する調査および対策

- ・コロナ禍が不動産事業者に与える影響に関する調査・情報提供
- ・影響を最小限とするための業務や営業活動に関する調査・情報提供

4. 会員事業所への情報の提供

- ・霊山ICから福島市内を通り国道115号に至る新ルートの整備促進に関すること
- ・福島西道路の北伸および南伸エリア周辺の土地利用促進に関すること
- ・大笹生エリア、東北中央自動車道を中心とした広域的土地利用に関すること
- ・福島市の都市政策に関すること

部会長	東栄物産(株)	
	代表取締役社長	安部 宏
副部会長	(株)エスケーコーポレーション	
	代表取締役会長	岡部 政美
副部会長	(有)菅野地所	
	代表取締役	加納 武志
副部会長	(株)北陽不動産鑑定事務所	
	代表取締役	金子 克之
副部会長	(株)芭蕉堂	
	代表取締役	斎藤 伸洋

9. 健康・社会サービス部会

◎1. 部会員のおもてなし向上に向けた事業の推進

- (1) おもてなし向上を図るためのセミナー等の開催
 - ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた「おもてなしセミナー」
 - ・接客マナーアップセミナー

◎2. 部会員の健康経営の推進

- (1) 「健康経営セミナー」の開催
 - ・心の健康・身体のケアなどのテーマでのセミナー開催
- (2) 「健康事業所宣言」の普及・拡大

◎3. ICTを活用した生産性向上の支援

- (1) ICTを活用した業務効率化等に向けた勉強会の開催
 - ・SNS活用による売上アップセミナー
 - ・キャッシュレス決済活用セミナー
- (2) IT導入に活用できる補助金などの情報の周知

4. 部会員間の親睦事業等の実施

- (1) 親睦事業および視察会の開催

5. 会員事業所への情報提供

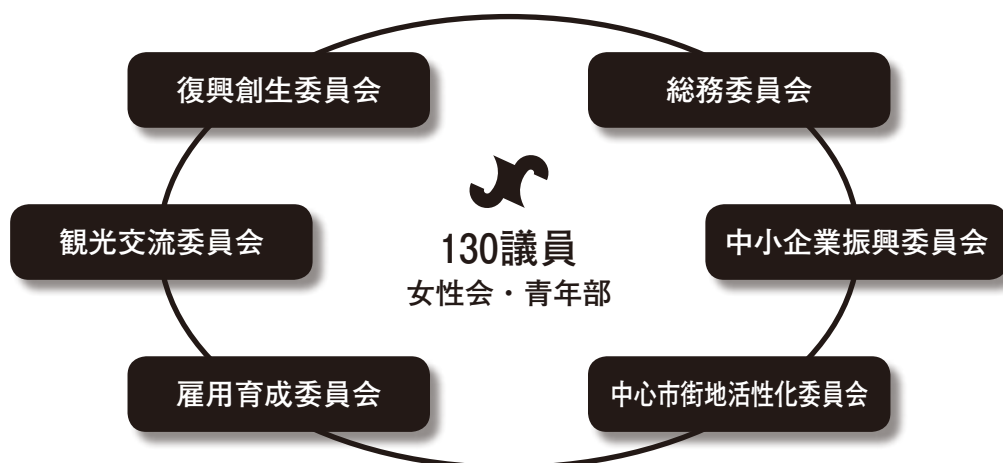
- (1) 新しい生活様式とアフターコロナ等に関する情報の提供

部会長	キョウワプロテック(株)	
	代表取締役社長	吾妻 学
副部会長	(株)ウェディングエルティ	
	代表取締役社長	手塚 健一
副部会長	(一財)大原記念財団	
	副理事長	土田 淳

2. 委員会事業 (正副委員長は令和3年3月1日現在)

委員会とは

- 委員会は、福島全体の発展を目的とする商工会議所の基盤組織です。
- 地域の課題に対応するため、6つの委員会が設けられています。
- 議員事業所と女性会・青年部で構成され、それぞれの知見を活かしていきます。



福島商工会議所議員任期は以下のとおりとなります。

第30期 令和元年11月1日～令和4年10月31日



1. 総務委員会

1. 事業の「見える化」の推進と、よりニーズに即した新事業実施による会員満足強化

- (1) 情報発信機能の強化
 - ・LINEを活用した経営支援活動の強化
 - ・Facebookを活用したイベント情報等情報発信の実施
 - ・商工会議所活動を記載した活用辞典の作成による事業周知強化
- (2) 会員満足調査の実施
 - ・会員のニーズを的確に把握するため、全会員を対象とした事業ニーズに関する調査を実施する

委員長	朝日システム(株)	
	代表取締役	博多 義雄
副委員長	(株)ウェディングエルティ	
	代表取締役社長	手塚 健一
副委員長	西川サッシ販売(株)	
	代表取締役会長	西川 博美
副委員長	(株)マクサムコミュニケーションズ	
	代表取締役社長	右近 八郎

2. 課題共有化に向けた各種会議の開催

- (1) 委員長会議、部会長会議、若手議員や青年部との懇談会、議員懇話会の開催
- (2) 総務委員間の情報交換の実施
 - ・委員会開催による情報交換の実施
- (3) 課題改善に向けた行政への要望活動等の実施
 - ・中小企業対策の推進
 - ・古関裕而氏に続く賑わい創出策の検討 など

3. 組織・財政基盤の強化

- (1) 組織率40%達成に向けた会員増強活動の実施
 - ・非会員に対する情報提供運動の強化
 - ・本支店加入の促進
- (2) 環境に対応した支援組織としての商工会議所のあり方についての検討（課題に対応する特別委員会の設置に関する提言の実施など）
 - ・会員のデジタル対応（ICT DX）支援
 - ・危機管理対策支援 など
- (3) ベストウイズキャンペーンの推進等による生命共済制度の普及促進
- (4) 損保会社との連携強化による業務災害補償プラン・ビジネス総合保険等の普及促進
- (5) 先進会議所視察の実施

2. 復興創生委員会

委員長	(株)いちい		
	代表取締役社長	伊藤	信弘
副委員長	コボックス(株)		
	代表取締役	小林	仁一
副委員長	(株)第一印刷		
	代表取締役社長	古川	幸治

◎1. 福島市の将来を見据えた地方創生のあり方の検討

- (1) 第6次福島市総合計画（R3～R7）を基本とする地方創生（まち・ひと・しごと）の取り組みに関する調査・研究
 - ① 若者の地元企業への就職促進並びに、Uターン等での就職に対する仕事づくりの環境整備の推進
 - ② 若年層が結婚・出産・子育てしやすい環境整備の推進
 - ③ 本市の魅力・強みを活かした交流人口の拡大および、定住・移住の促進などに関する対応策への支援・協力
- (2) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画（R3～R8）に対する支援・協力
 - ① 福島駅東口地区市街地再開発事業に対する支援・協力
 - ② 商店街エリア価値向上・リノベーションまちづくりに関する検討
 - ③ 福島市の将来を担う高校生や大学生等の若者が、まちづくりに参画する機会創出等に関する調査・研究

◎2. 第2期復興・創生期間（R3～R7）に関する情報の収集・提供

◎3. 福島市の広域連携に関する調査・研究

- (1) 広域の地域活性化と連携事業の推進を図ることを目的に福島市が設立した、福島圏域連携推進協議会（構成11市町村）との連携・協力
- (2) 連携中枢都市圏構想の実現に向けた調査・研究並びに、先進地視察会の実施
- (3) 商工団体の広域連携としての、(仮)県北商工団体広域連携会議の設立に向けての検討（東北中央自動車道相馬福島道路の開通による産業推進連携などを含む）

4. ふくしま将来ビジョンアクションプランの検証並びに進捗管理

- (1) アクションプランの見直しを含めた内容の検証
 - 課題2 福島市の都市形成および居住環境整備
 - 課題3 中小企業支援策の充実
 - 課題4 観光振興および交流人口拡大策の推進
(課題1 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化～R2見直し済)
- (2) 検証後の進捗度合の状況確認を行うとともに、必要に応じてその実現に向けた関係団体等への提言・要望



3. 中小企業振興委員会

委員長	(株)大丸工務店 代表取締役	大和田知昭
副委員長	山正酸素(株) 代表取締役会長	佐藤 允昭
副委員長	(株)樋口商店 代表取締役社長	樋口 幸一

◎1. ウィズコロナ・アフターコロナに対応した中小企業経営に関する伴走型支援の強化

- 新型コロナウイルス対策支援事業への迅速な対応
- 感染症対策を含めた新たな災害リスクに対応するための「事業継続力強化計画」普及・策定支援の推進
- 経営発達支援計画に基づく事業者に寄り添った伴走型の事業計画策定・実行支援
- 小規模事業者持続化補助金等に係る計画策定による販路開拓等経営支援
- IT導入・活用への対応（非接触・非対面の対応、テレワークの推進）等デジタルトランスフォーメーション推進による生産性向上支援
- 中小企業の事業再構築（新分野展開や業態転換、事業・業種転換・規模の拡大等）への支援

◎2. 新規創業・事業承継に関する支援

- 各種支援制度を活用した新規創業・第二創業・新たな販促の支援
- 創業スクール実施による新規創業支援の強化
- 事業承継に関する支援強化および福島県事業承継・引継ぎ支援センター等関係機関団体と連携強化

3. 新たな優良会員事業所表彰制度の実施

- 自社の強みや経営資源を活かしたり、新たな商品・サービス等を開発することなどで業績に好影響をもたらしている事業所や、応援したい飲食関連事業所を顕彰・推奨することにより、会員企業の経営意欲を高め地域経済の活性化を図ることを目的として実施する。

4. 関係機関との連携による中小企業振興の推進および情報提供

- 中小企業向け新型コロナウイルス対策支援事業に関するSNS等を使った迅速な情報提供
- 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
- 連携中枢都市圏構想に関する情報提供
- 大学をはじめ企業や研究機関、行政等との産学官との連携
- オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力
- 福島イノベーション・コースト構想をはじめ、医療、再生可能エネルギー、ロボット産業等に関する情報提供

4. 観光交流委員会

委員長	東日本旅客鉄道(株)福島駅 福島駅長	佐々木高敏
副委員長	福島観光サービス(株) 会長	齋藤 修
副委員長	(有)吉川屋 代表取締役会長	畠 隆章

◎1. 東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）に連動した誘客事業の実施および支援

- (1) 東北DCに連動した観光資源のPR事業の実施
【観光資源】「エール」ロケ地（水林自然林・民家園・信夫山）・花見山・花ももの里・フルーツライン等
- (2) 東北DC成功へ向けた市内企業・商店街・市民等へのおもてなし啓発活動の実施
- (3) 優待お食事券事業によるJRとの連携事業の実施
- (4) 福島駅周辺での観光誘客イベント（ハル・ナツ・アキフェス）の開催

◎2. 歴史、文化を活用したまちづくり

- (1) 古関裕而氏を活かしたまちづくり推進事業への支援・協力
 - ① 「古関裕而のまち・ふくしま」シンフォニー（福島市事業）との連携強化
 - ② 古関裕而氏野球殿堂入り実現へ向けた活動の推進
 - ③ 古関裕而氏の妻金子氏の出身地愛知県豊橋市との交流事業の実施
- (2) まつりを活用した地域活性化への支援・協力
 - ① 東北絆まつり2021山形（5月22日・23日開催）
 - ② 第52回福島わらじまつり（8月第一金・土開催予定）
「エール」出演者の誘致活動の実施
- (3) 秋山庄太郎生誕100年記念事業への支援・協力

◎3. 東北中央自動車道の活用による広域観光の促進

- (1) 東北中央自動車道利用促進のための福島市観光PR事業の実施
- (2) 仙台国際空港を活用した広域観光周遊ルートの検討
- (3) 福島大笹生IC周辺に整備される「道の駅」と沿線「道の駅」を活用した広域観光の推進
- (4) 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会との連携強化

4. スポーツイベントを通じた交流人口拡大への支援・協力

- 東京オリンピック・パラリンピック
 - ・東京オリンピック（福島市開催）に向けた各種歓迎イベントとの連携強化
 - ・東北・新潟の情報発信拠点事業「東北ハウス」への協力
- 福島ユナイテッドFC（設立10周年）
- 大相撲 大波三兄弟

5. 福島市観光コンベンション協会との連携強化

6. 視察会の開催

- 気仙沼DMOの視察
- 「全国商工会議所観光振興大会2021 in おきなわ那覇」（12月6日～8日開催）への参加

7. 観光振興に関する各種情報提供



5. 中心市街地活性化委員会

委員長	福島市商店街連合会
会長	小河日出男
副委員長	(株)福島まちづくりセンター
常務取締役	草野 健

1. 中心市街地のにぎわい創出事業への支援

- ◎(1) 古関裕而ストリートのにぎわい創出について
 - ① 福島駅前通りホコ天事業への支援
 - ② 福島市街なか交流館で行われるイベント等への支援
 - ③ エールポスト事業等、古関レガシーを活用した各種事業への支援
- ◎(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントへの支援
 - ① コミュニティライブサイト事業への支援
 - ② 駅前周辺で開催される各種歓迎イベントへの支援
- (3) 福島駅前元気プロジェクトの実施のほか、商店街、当所青年部・女性会等が主催するにぎわいイベントへの支援
- (4) 市内の学生および若者によるまちづくり活動への支援
 - ① 県立医科大学保健科学部の開学歓迎事業の実施および市内大学生との意見交換
 - ② 学生および若者が取り組むにぎわいイベント等への支援

2. 福島駅前再開発を含めたまちづくりに関する情報提供

- ◎(1) 第3期中心市街地活性化基本計画の実現に向けて
 - ① 福島駅東口地区第一種市街地再開発事業および福島駅前交流集客拠点施設整備事業に関する調査
 - ② 商店街エリア価値向上支援事業に関する調査
 - ③ 新まちなか広場や市役所西棟（複合市民施設）に関する調査
- (2) 福島駅周辺連続立体交差化に関する調査
- (3) 視察会の開催
 - ① リノベーションまちづくりや駅連続立体交差等、まちづくり先進事例地の視察

6. 雇用育成委員会

◎1. 人材育成と多様な人材の活躍推進

- (1) 高等学校との連携による就職促進等の取組み
- (2) 多様な人材の活躍推進に関する取組み
- (3) 社員教育に関する研修会等の推進
- (4) 人材育成に関する先進的な取組み事例の研究
- (5) 大学等との連携

◎2. コロナ禍における人材確保と会員企業への支援強化

- (1) 雇用調整助成金等会員企業の事業継続・雇用維持に向けた支援
- (2) コロナ対策マル経融資・持続化補助金等の支援および周知徹底
- (3) 専門家による各種個別相談会等実施の推進

3. 働き方改革・生産性向上の推進

- (1) 同一労働同一賃金・パワハラ防止法等労働法制への中小企業の対応促進
- (2) テレワーク等デジタル技術活用による生産性向上の推進および普及啓発

4. 健康経営・職場環境の改善に関する支援・協力

- (1) 健康事業所宣言の普及啓発
- (2) 心の健康づくり計画の推進および支援
- (3) 健康経営セミナーに関する支援・協力
- (4) 福島県魅力ある職場づくり推進協議会への支援・協力

委員長	(株)東邦銀行 常務執行役員	須藤 英穂
副委員長	(株)古俣工務店 代表取締役	古俣 猛
副委員長	日東物産(株) 取締役会長	大橋 廣治